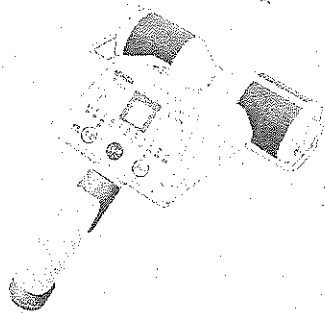


当会会員の電制コムテック(株)様が
2024年11月12日付の日刊工業新聞で紹介されました。

側弯症を簡易検査

電制コムテック 学校・クリニック向け

【札幌】電制コムテック(北海道江別市、田上寛社長)は、旭川医科大学と共同で脊柱側弯(そくわん)症の検査機器「スコリオデータ」を開発した。26日に発売する。価格は28万円程度を予定している。高額で難度が高学校の保健機関や民間学校・クリニックなどに初年度50台の販売を目指す。



脊柱側弯症は脊柱が左右に曲がってしまう症状。特に小学校高学年から中学生といった成長期に発症するケースが多い。早期発見が重要だ

が、同社によると従来の検査装置は高額で検査の難度も高く、教育機関などでは視触診の対応しかできないことが多いという。

開発したスコリオデータは、児童が着衣のまま測定できるほか、脊柱側弯症の専門的な知識が不要。これまで1人当たり数分かかった検査時間を数秒に短縮することができる。一般医療用機器としての届け出は完了した。単3アルカリ乾電池2本で動作する。